福島県立博物館令和４年度特別講座

詩人のいる博物館 文学とミュージアム①

山口・福島

詩が結ぶ新たなきずな

9月3日（土）

13:30～15:30

福島県立博物館 講堂

＆オンライン

講師：和合亮一さん（詩人）
中原　豊さん（中原中也記念館館長）

和合亮一（Wago Ryouichi）
詩人。国語教師。中原中也賞、晩翠賞、福島県文学賞、ＮＨＫ東北文化賞など受賞。震災後に福島から発信した詩をまとめた『詩の礫』がフランスにて詩集賞受賞（日本文壇史上初）。2019 年には『ＱＱＱ』が萩原朔太郎賞受賞。福島県教育復興大使。福島大学応援大使。

中原　豊(Nakahara　Yutaka)
中原中也記念館館長。中原中也を中心とする日本の近代詩や、夏目漱石、芥川龍之介らの近代小説に関する研究論文を発表している。著書（共著）に佐藤泰正編『中原中也を読む』（笠間書院）などがある。詩誌「あるるかん」同人。

※講座の模様を収録し、後日博物館公式 YouTube チャンネルで公開予定です。会場に撮影機材およびスタッフが入りますことをあらかじめご了承ください。
※新型コロナウイルスの感染拡大状況により予定が変更になる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
※ご参加の際はマスクの着用にご協力ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。

福島市在住の詩人・和合亮一さんをホスト役講師に開催する特別講座「詩人のいる博物館」。今年度もゲストをお招きし３回にわたって開催しています。

今年度の１回目は、中原中也記念館館長中原豊さんにお越し頂き、「山口・福島　詩が結ぶ新たなきずな」と題してお送りします。中原中也記念館は、東日本大震災を契機として、全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」の一環として関東大震災など未曾有の事態に言葉で向きあった文学者の営みを紹介する企画展を開催するとともに、被災地の文学館や諸団体と交流し、独自の震災復興応援企画においてその活動を紹介してきました。
今回は、中原中也の魅力や記念館の活動をはじめ、2011 年以降、和合さんと中原館長が言葉で結んできた山口と福島のきずなをご紹介いただきます。
会津で新たなきずなが結ばれる場にぜひご一緒ください。

参加費：無料　　要申込
①会場参加の方（定員 100 名、８月３日から受付開始）
お電話（0242-28-6000）または福島県立博物館受付カウンターでお申し込み下さい。
②オンライン参加の方（定員 100 名、８月３日から受付開始）
メール（general-museum@fcs.ed.jp 宛）にて、①事業名、②参加者氏名、③電話番号、④ZOOM 情報受け取りご希望 e-mail アドレスをお知らせの上、お申し込みください。申込受付締め切り：令和４年９月３日（土）12：00

【問い合わせ・申込】 福島県立博物館
〒965-0807 会津若松市城東町 1-25　電話番号: 0242-28-6000
HP https://general-museum.fcs.ed.jp